

千葉トヨペット株式会社
千葉市新町10 TEL ②-3141(代)

々同盟会を煩すのは申し訳けないので我々の力だと思つたが、正式に記念祭のパーティーの通知をださなかつたことは失礼であつた反と省の意をもらしている。

尙、このパーティーをもつて九十周年は開幕したわけであるが、記念祭実行委員会では、この年を沈滞ムードを破る意味でも一つの出発点としてと張り切っており、今後の値し物を行なうに当つても学内、学外の絶大なる援助を希望している。

学三星野氏記す

千葉大学医学部学生自治会は、足以
来初の試みである学生大会が、自
治会と学内インターン委員会の胆
入りで四月十七日午後一時半より
基礎新館第一講義室で開かれた。
厚生省並びに自民党による医師法
一部改正法案上呈に、教育不在な
どの理由により反対する動きが、

(イ制)

新委員長に

宮本君(学三)

代議員会

開かる

第7回
学生CPC

一内へ入院した。入院後も血圧・を呈し、糸球体荒廢、尿管管上皮、
髓柱は高く、前胸部痛の苦悶のま
ま終つて死にしている。

討論では、悪性高血圧の診断が多。悪性腎硬症と診断された。

かったが、高血圧と蛋白尿とが、死因は、心臓の求心性肥大と多量生

どちらが先きに発現したか不明での血性心嚢水貯留が見られ、心臓ほ

あるので慢性糸球体腎炎を否定す タンポナーデであろうとされた。

る事はできないとの意見も出た。臨床の先生から「本例の如きは、

しかし、臨床面の解説をした東条臨床医にとって決定的な治療法は

... 1990 ...

39年度決算報告(自治会)

収入の部		39年度予算	決算
38年度繰越金		- 9,695	- 9,695
自治会費未納金	G3	45,440	0
	G2	74,640	0
39年度自治会費	G1	135,360	111,600
総計		245,745	101,905
支出の部		39年度予算	決算
医学連加盟費		9,600	9,600
東日本体育大会援助費		5,000	5,000
医ゼミ援助費		5,000	3,000
39年度サークル費		120,000	36,000
37年度サークル未払分		44,538	0
インター委員会援助費		50,000	46,633
総務費			
新入生歓迎会費		3,000	0
予備費		8,607	
総計		245,745	100,233

40 年度予算

収入の部		
39年度繰越会	1,672	
自治会費未納金	45,440	(56,800)
G3	74,640	(93,300)
G2	43,200	(54,000)
G1	145,440	(181,800)
総計	310,392	
支出の部		
医学連加盟費	9,600	
インターン委員会援助費	15,000	
東日本体育大会援助費	5,000	
医ゼミ援助費	5,000	
40年度サークル費	100,000	
39年度サークル費未払分	84,000	
37年度サークル費未払分	44,538	
総務費	40,000	
予備費	7,254	
総計	310,392	

老化にパロチンで対抗しよう

★目の老化に老眼鏡★歯の老化に入れ歯や消化剤

★骨、関節の老化にステッキ★筋肉の老化にマッサージ

★血管の老化に降血圧剤などなど……

老化対策がまちまちで、しかも老化は止むを得ないと認めんばかりの心細い手の打ち方です。

8つの重要組織を同時に、バランスを保ちながら、若いときのあの体力をつける薬…パロチンを補給しましょう。青年時代、あなたの体の中で分泌していたパロチンを外から与える積極的な対策が必要です。

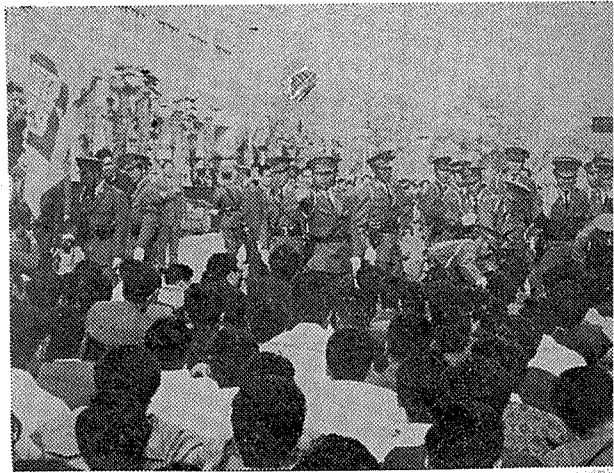
帝国臓器 東京・赤坂局区内

老化を防ぐ

パロチン錠

120錠

伊志井 寛さん



写真・5月13日厚生省前での歴りこみ

した形で行ったものである。このように、リキニウム委員会等の活動を行っている。しかし、前にも述べたように、これだけでは不十分である。もし医師になる者が全くとその個人の利益についてだけから考へられるのだらう。その程度の能力を持った医師が出来るかはその個人のことであり、そこで問題になるのはその個人がいかにかつ努力するかだけである。だが他の職業と同じに、いかなる以上で医師といふものが社会的に一定以上の能力を要求されるならば、しかもそれだけの能力がつけられるだけの社会的条件がないとすれば、その条件を要求する事は我々の権利であると共に義務である。ここに大学寮やカリキュラム委員会の活動とは別



写真・千葉でのデモ

即ちこの三つがいかにか改善され、それがインテリゲンシアの目的である。単に医者に現在かかっている患者が、これが改善されないような制などというせいぜい範囲のものでは、代五割負担、保険率引き上げ

(ハ) 学生統一と団結をいかに守るか
インターン闘争の特徴は、殆んど全ての医学生がこれに参加して来ていることである。しかも、その多くは自治会やサークル活動等の経験を持っていない学生であり、さまざまな政治的意見を持った学生である。このような学生が殆んど全部を結集していることがインターン闘争の最大の強みである。この二年度のインターン闘争が大きな運動になり、社会的関心をもち、厚生省にまで影響を及ぼさなければならぬ。教授会等の動きもあるが、その最大の理由は医学生がほとんど全員運動した点(決して最上の職務がとられたと求しつづける必要はないもの)

発展する同窓会

名簿作成の件 不詳者名一覽

八十五周年記念講演も同窓会の各方面の方々の努力により完成し、そのモダンでユニークな姿をいのはな台の若緑の中に浮かせています。しかし未だ幾多不足の現状です。同窓会目標のほうは、この講演会をとおし致し、この講演会の完成とともに、学内外から、今後この講演会を中心として同窓会活動を活発にそしてさらに発展させ、血のかよった、もっと親しみのあるものにしてゆこうという気運が盛り上ってきています。そして本年の同窓会、はな同窓会が計画されていま、全国的に同窓会に呼びかけ、今後の発展のスタートになるようにと案がわねられています。

同窓会費の件

消息不詳者名

三十九年度の同窓会の収入は、約百万円であり、約二十人が会費を納入していることになっている。このように現在会費納入者は、会費の四分の一である。このため、同窓会活動もかなり制限されている。また三十七年度改訂の同窓会名簿の代金もまだかなりの未納者があり、事務局では整理の都合もあるので至急に納入されるよう希望している。

- 元第一高等学校医学部
明治三十四年卒業 石井嘉助、大沼寛一、野村博道、前田彦頼、三浦尚友、山本富太、安間善親、太、八木亨
明治四十年卒業 阿部彦作、石川俊治、今岡芳蔵、大島三郎、小野謙之助、佐藤日出雄、真田敬介、杉野栄吉、鈴木重治、武田信一、谷口清水、中島貞吉、長連十郎、沼尻寛一、野村博道、前田彦頼、三浦尚友、山本富太、安間善親、太、八木亨
明治四十二年卒業 安積清一、石川大正、大正三、武蔵、大正五、大正六、大正七、大正八、大正九、大正十、大正十一、大正十二、大正十三、大正十四、大正十五、大正十六、大正十七、大正十八、大正十九、大正二十、大正二十一、大正二十二、大正二十三、大正二十四、大正二十五、大正二十六、大正二十七、大正二十八、大正二十九、大正三十、大正三十一、大正三十二、大正三十三、大正三十四、大正三十五、大正三十六、大正三十七、大正三十八、大正三十九、大正四十、大正四十一、大正四十二、大正四十三、大正四十四、大正四十五、大正四十六、大正四十七、大正四十八、大正四十九、大正五十、大正五十一、大正五十二、大正五十三、大正五十四、大正五十五、大正五十六、大正五十七、大正五十八、大正五十九、大正六十、大正六十一、大正六十二、大正六十三、大正六十四、大正六十五、大正六十六、大正六十七、大正六十八、大正六十九、大正七十、大正七十一、大正七十二、大正七十三、大正七十四、大正七十五、大正七十六、大正七十七、大正七十八、大正七十九、大正八十、大正八十一、大正八十二、大正八十三、大正八十四、大正八十五、大正八十六、大正八十七、大正八十八、大正八十九、大正九十、大正九十一、大正九十二、大正九十三、大正九十四、大正九十五、大正九十六、大正九十七、大正九十八、大正九十九、大正一百、大正一百一、大正一百二、大正一百三、大正一百四、大正一百五、大正一百六、大正一百七、大正一百八、大正一百九、大正二百、大正二百一、大正二百二、大正二百三、大正二百四、大正二百五、大正二百六、大正二百七、大正二百八、大正二百九、大正三百、大正三百一、大正三百二、大正三百三、大正三百四、大正三百五、大正三百六、大正三百七、大正三百八、大正三百九、大正四百、大正四百一、大正四百二、大正四百三、大正四百四、大正四百五、大正四百六、大正四百七、大正四百八、大正四百九、大正五百、大正五百一、大正五百二、大正五百三、大正五百四、大正五百五、大正五百六、大正五百七、大正五百八、大正五百九、大正六百、大正六百一、大正六百二、大正六百三、大正六百四、大正六百五、大正六百六、大正六百七、大正六百八、大正六百九、大正七百、大正七百一、大正七百二、大正七百三、大正七百四、大正七百五、大正七百六、大正七百七、大正七百八、大正七百九、大正八百、大正八百一、大正八百二、大正八百三、大正八百四、大正八百五、大正八百六、大正八百七、大正八百八、大正八百九、大正九百、大正九百一、大正九百二、大正九百三、大正九百四、大正九百五、大正九百六、大正九百七、大正九百八、大正九百九、大正一千、大正一千一、大正一千二、大正一千三、大正一千四、大正一千五、大正一千六、大正一千七、大正一千八、大正一千九、大正二千、大正二千一、大正二千二、大正二千三、大正二千四、大正二千五、大正二千六、大正二千七、大正二千八、大正二千九、大正三千、大正三千一、大正三千二、大正三千三、大正三千四、大正三千五、大正三千六、大正三千七、大正三千八、大正三千九、大正四千、大正四千一、大正四千二、大正四千三、大正四千四、大正四千五、大正四千六、大正四千七、大正四千八、大正四千九、大正五千、大正五千一、大正五千二、大正五千三、大正五千四、大正五千五、大正五千六、大正五千七、大正五千八、大正五千九、大正六千、大正六千一、大正六千二、大正六千三、大正六千四、大正六千五、大正六千六、大正六千七、大正六千八、大正六千九、大正七千、大正七千一、大正七千二、大正七千三、大正七千四、大正七千五、大正七千六、大正七千七、大正七千八、大正七千九、大正八千、大正八千一、大正八千二、大正八千三、大正八千四、大正八千五、大正八千六、大正八千七、大正八千八、大正八千九、大正九千、大正九千一、大正九千二、大正九千三、大正九千四、大正九千五、大正九千六、大正九千七、大正九千八、大正九千九、大正一万、大正一万一、大正一万二、大正一万三、大正一万四、大正一万五、大正一万六、大正一万七、大正一万八、大正一万九、大正二万、大正二万一、大正二万二、大正二万三、大正二万四、大正二万五、大正二万六、大正二万七、大正二万八、大正二万九、大正三万、大正三万一、大正三万二、大正三万三、大正三万四、大正三万五、大正三万六、大正三万七、大正三万八、大正三万九、大正四万、大正四万一、大正四万二、大正四万三、大正四万四、大正四万五、大正四万六、大正四万七、大正四万八、大正四万九、大正五万、大正五万一、大正五万二、大正五万三、大正五万四、大正五万五、大正五万六、大正五万七、大正五万八、大正五万九、大正六万、大正六万一、大正六万二、大正六万三、大正六万四、大正六万五、大正六万六、大正六万七、大正六万八、大正六万九、大正七万、大正七万一、大正七万二、大正七万三、大正七万四、大正七万五、大正七万六、大正七万七、大正七万八、大正七万九、大正八万、大正八万一、大正八万二、大正八万三、大正八万四、大正八万五、大正八万六、大正八万七、大正八万八、大正八万九、大正九万、大正九万一、大正九万二、大正九万三、大正九万四、大正九万五、大正九万六、大正九万七、大正九万八、大正九万九、大正十万、大正十万一、大正十万二、大正十万三、大正十万四、大正十万五、大正十万六、大正十万七、大正十万八、大正十万九、大正十一万、大正十一万一、大正十一万二、大正十一万三、大正十一万四、大正十一万五、大正十一万六、大正十一万七、大正十一万八、大正十一万九、大正十二万、大正十二万一、大正十二万二、大正十二万三、大正十二万四、大正十二万五、大正十二万六、大正十二万七、大正十二万八、大正十二万九、大正十三万、大正十三万一、大正十三万二、大正十三万三、大正十三万四、大正十三万五、大正十三万六、大正十三万七、大正十三万八、大正十三万九、大正十四万、大正十四万一、大正十四万二、大正十四万三、大正十四万四、大正十四万五、大正十四万六、大正十四万七、大正十四万八、大正十四万九、大正十五万、大正十五万一、大正十五万二、大正十五万三、大正十五万四、大正十五万五、大正十五万六、大正十五万七、大正十五万八、大正十五万九、大正十六万、大正十六万一、大正十六万二、大正十六万三、大正十六万四、大正十六万五、大正十六万六、大正十六万七、大正十六万八、大正十六万九、大正十七万、大正十七万一、大正十七万二、大正十七万三、大正十七万四、大正十七万五、大正十七万六、大正十七万七、大正十七万八、大正十七万九、大正十八万、大正十八万一、大正十八万二、大正十八万三、大正十八万四、大正十八万五、大正十八万六、大正十八万七、大正十八万八、大正十八万九、大正十九万、大正十九万一、大正十九万二、大正十九万三、大正十九万四、大正十九万五、大正十九万六、大正十九万七、大正十九万八、大正十九万九、大正二十万、大正二十万一、大正二十万二、大正二十万三、大正二十万四、大正二十万五、大正二十万六、大正二十万七、大正二十万八、大正二十万九、大正二十一万、大正二十万一、大正二十一万二、大正二十一万三、大正二十一万四、大正二十一万五、大正二十一万六、大正二十一万七、大正二十一万八、大正二十一万九、大正二十二万、大正二十二万一、大正二十二万二、大正二十二万三、大正二十二万四、大正二十二万五、大正二十二万六、大正二十二万七、大正二十二万八、大正二十二万九、大正二十三万、大正二十三万一、大正二十三万二、大正二十三万三、大正二十三万四、大正二十三万五、大正二十三万六、大正二十三万七、大正二十三万八、大正二十三万九、大正二十四万、大正二十四万一、大正二十四万二、大正二十四万三、大正二十四万四、大正二十四万五、大正二十四万六、大正二十四万七、大正二十四万八、大正二十四万九、大正二十五万、大正二十五万一、大正二十五万二、大正二十五万三、大正二十五万四、大正二十五万五、大正二十五万六、大正二十五万七、大正二十五万八、大正二十五万九、大正二十六万、大正二十六万一、大正二十六万二、大正二十六万三、大正二十六万四、大正二十六万五、大正二十六万六、大正二十六万七、大正二十六万八、大正二十六万九、大正二十七万、大正二十七万一、大正二十七万二、大正二十七万三、大正二十七万四、大正二十七万五、大正二十七万六、大正二十七万七、大正二十七万八、大正二十七万九、大正二十八万、大正二十八万一、大正二十八万二、大正二十八万三、大正二十八万四、大正二十八万五、大正二十八万六、大正二十八万七、大正二十八万八、大正二十八万九、大正二十九万、大正二十九万一、大正二十九万二、大正二十九万三、大正二十九万四、大正二十九万五、大正二十九万六、大正二十九万七、大正二十九万八、大正二十九万九、大正三十万、大正三十万一、大正三十万二、大正三十万三、大正三十万四、大正三十万五、大正三十万六、大正三十万七、大正三十万八、大正三十万九、大正三十一万、大正三十一万一、大正三十一万二、大正三十一万三、大正三十一万四、大正三十一万五、大正三十一万六、大正三十一万七、大正三十一万八、大正三十一万九、大正三十二万、大正三十二万一、大正三十二万二、大正三十二万三、大正三十二万四、大正三十二万五、大正三十二万六、大正三十二万七、大正三十二万八、大正三十二万九、大正三十三万、大正三十三万一、大正三十三万二、大正三十三万三、大正三十三万四、大正三十三万五、大正三十三万六、大正三十三万七、大正三十三万八、大正三十三万九、大正三十四万、大正三十四万一、大正三十四万二、大正三十四万三、大正三十四万四、大正三十四万五、大正三十四万六、大正三十四万七、大正三十四万八、大正三十四万九、大正三十五万、大正三十五万一、大正三十五万二、大正三十五万三、大正三十五万四、大正三十五万五、大正三十五万六、大正三十五万七、大正三十五万八、大正三十五万九、大正三十六万、大正三十六万一、大正三十六万二、大正三十六万三、大正三十六万四、大正三十六万五、大正三十六万六、大正三十六万七、大正三十六万八、大正三十六万九、大正三十七万、大正三十七万一、大正三十七万二、大正三十七万三、大正三十七万四、大正三十七万五、大正三十七万六、大正三十七万七、大正三十七万八、大正三十七万九、大正三十八万、大正三十八万一、大正三十八万二、大正三十八万三、大正三十八万四、大正三十八万五、大正三十八万六、大正三十八万七、大正三十八万八、大正三十八万九、大正三十九万、大正三十九万一、大正三十九万二、大正三十九万三、大正三十九万四、大正三十九万五、大正三十九万六、大正三十九万七、大正三十九万八、大正三十九万九、大正四十万、大正四十万一、大正四十万二、大正四十万三、大正四十万四、大正四十万五、大正四十万六、大正四十万七、大正四十万八、大正四十万九、大正四十一万、大正四十一万一、大正四十一万二、大正四十一万三、大正四十一万四、大正四十一万五、大正四十一万六、大正四十一万七、大正四十一万八、大正四十一万九、大正四十二万、大正四十二万一、大正四十二万二、大正四十二万三、大正四十二万四、大正四十二万五、大正四十二万六、大正四十二万七、大正四十二万八、大正四十二万九、大正四十三万、大正四十三万一、大正四十三万二、大正四十三万三、大正四十三万四、大正四十三万五、大正四十三万六、大正四十三万七、大正四十三万八、大正四十三万九、大正四十四万、大正四十四万一、大正四十四万二、大正四十四万三、大正四十四万四、大正四十四万五、大正四十四万六、大正四十四万七、大正四十四万八、大正四十四万九、大正四十五万、大正四十五万一、大正四十五万二、大正四十五万三、大正四十五万四、大正四十五万五、大正四十五万六、大正四十五万七、大正四十五万八、大正四十五万九、大正四十六万、大正四十六万一、大正四十六万二、大正四十六万三、大正四十六万四、大正四十六万五、大正四十六万六、大正四十六万七、大正四十六万八、大正四十六万九、大正四十七万、大正四十七万一、大正四十七万二、大正四十七万三、大正四十七万四、大正四十七万五、大正四十七万六、大正四十七万七、大正四十七万八、大正四十七万九、大正四十八万、大正四十八万一、大正四十八万二、大正四十八万三、大正四十八万四、大正四十八万五、大正四十八万六、大正四十八万七、大正四十八万八、大正四十八万九、大正四十九万、大正四十九万一、大正四十九万二、大正四十九万三、大正四十九万四、大正四十九万五、大正四十九万六、大正四十九万七、大正四十九万八、大正四十九万九、大正五十万、大正五十万一、大正五十万二、大正五十万三、大正五十万四、大正五十万五、大正五十万六、大正五十万七、大正五十万八、大正五十万九、大正五十一万、大正五十一万一、大正五十一万二、大正五十一万三、大正五十一万四、大正五十一万五、大正五十一万六、大正五十一万七、大正五十一万八、大正五十一万九、大正五十二万、大正五十二万一、大正五十二万二、大正五十二万三、大正五十二万四、大正五十二万五、大正五十二万六、大正五十二万七、大正五十二万八、大正五十二万九、大正五十三万、大正五十三万一、大正五十三万二、大正五十三万三、大正五十三万四、大正五十三万五、大正五十三万六、大正五十三万七、大正五十三万八、大正五十三万九、大正五十四万、大正五十四万一、大正五十四万二、大正五十四万三、大正五十四万四、大正五十四万五、大正五十四万六、大正五十四万七、大正五十四万八、大正五十四万九、大正五十五万、大正五十五万一、大正五十五万二、大正五十五万三、大正五十五万四、大正五十五万五、大正五十五万六、大正五十五万七、大正五十五万八、大正五十五万九、大正五十六万、大正五十六万一、大正五十六万二、大正五十六万三、大正五十六万四、大正五十六万五、大正五十六万六、大正五十六万七、大正五十六万八、大正五十六万九、大正五十七万、大正五十七万一、大正五十七万二、大正五十七万三、大正五十七万四、大正五十七万五、大正五十七万六、大正五十七万七、大正五十七万八、大正五十七万九、大正五十八万、大正五十八万一、大正五十八万二、大正五十八万三、大正五十八万四、大正五十八万五、大正五十八万六、大正五十八万七、大正五十八万八、大正五十八万九、大正五十九万、大正五十九万一、大正五十九万二、大正五十九万三、大正五十九万四、大正五十九万五、大正五十九万六、大正五十九万七、大正五十九万八、大正五十九万九、大正六十万、大正六十万一、大正六十万二、大正六十万三、大正六十万四、大正六十万五、大正六十万六、大正六十万七、大正六十万八、大正六十万九、大正六十一万、大正六十一万一、大正六十一万二、大正六十一万三、大正六十一万四、大正六十一万五、大正六十一万六、大正六十一万七、大正六十一万八、大正六十一万九、大正六十二万、大正六十二万一、大正六十二万二、大正六十二万三、大正六十二万四、大正六十二万五、大正六十二万六、大正六十二万七、大正六十二万八、大正六十二万九、大正六十三万、大正六十三万一、大正六十三万二、大正六十三万三、大正六十三万四、大正六十三万五、大正六十三万六、大正六十三万七、大正六十三万八、大正六十三万九、大正六十四万、大正六十四万一、大正六十四万二、大正六十四万三、大正六十四万四、大正六十四万五、大正六十四万六、大正六十四万七、大正六十四万八、大正六十四万九、大正六十五万、大正六十五万一、大正六十五万二、大正六十五万三、大正六十五万四、大正六十五万五、大正六十五万六、大正六十五万七、大正六十五万八、大正六十五万九、大正六十六万、大正六十六万一、大正六十六万二、大正六十六万三、大正六十六万四、大正六十六万五、大正六十六万六、大正六十六万七、大正六十六万八、大正六十六万九、大正六十七万、大正六十七万一、大正六十七万二、大正六十七万三、大正六十七万四、大正六十七万五、大正六十七万六、大正六十七万七、大正六十七万八、大正六十七万九、大正六十八万、大正六十八万一、大正六十八万二、大正六十八万三、大正六十八万四、大正六十八万五、大正六十八万六、大正六十八万七、大正六十八万八、大正六十八万九、大正六十九万、大正六十九万一、大正六十九万二、大正六十九万三、大正六十九万四、大正六十九万五、大正六十九万六、大正六十九万七、大正六十九万八、大正六十九万九、大正七十万、大正七十万一、大正七十万二、大正七十万三、大正七十万四、大正七十万五、大正七十万六、大正七十万七、大正七十万八、大正七十万九、大正七十一万、大正七十一万一、大正七十一万二、大正七十一万三、大正七十一万四、大正七十一万五、大正七十一万六、大正七十一万七、大正七十一万八、大正七十一万九、大正七十二万、大正七十二万一、大正七十二万二、大正七十二万三、大正七十二万四、大正七十二万五、大正七十二万六、大正七十二万七、大正七十二万八、大正七十二万九、大正七十三万、大正七十三万一、大正七十三万二、大正七十三万三、大正七十三万四、大正七十三万五、大正七十三万六、大正七十三万七、大正七十三万八、大正七十三万九、大正七十四万、大正七十四万一、大正七十四万二、大正七十四万三、大正七十四万四、大正七十四万五、大正七十四万六、大正七十四万七、大正七十四万八、大正七十四万九、大正七十五万、大正七十五万一、大正七十五万二、大正七十五万三、大正七十五万四、大正七十五万五、大正七十五万六、大正七十五万七、大正七十五万八、大正七十五万九、大正七十六万、大正七十六万一、大正七十六万二、大正七十六万三、大正七十六万四、大正七十六万五、大正七十六万六、大正七十六万七、大正七十六万八、大正七十六万九、大正七十七万、大正七十七万一、大正七十七万二、大正七十七万三、大正七十七万四、大正七十七万五、大正七十七万六、大正七十七万七、大正七十七万八、大正七十七万九、大正七十八万、大正七十八万一、大正七十八万二、大正七十八万三、大正七十八万四、大正七十八万五、大正七十八万六、大正七十八万七、大正七十八万八、大正七十八万九、大正七十九万、大正七十九万一、大正七十九万二、大正七十九万三、大正七十九万四、大正七十九万五、大正七十九万六、大正七十九万七、大正七十九万八、大正七十九万九、大正八十万、大正八十万一、大正八十万二、大正八十万三、大正八十万四、大正八十万五、大正八十万六、大正八十万七、大正八十万八、大正八十万九、大正八十一万、大正八十一万一、大正八十一万二、大正八十一万三、大正八十一万四、大正八十一万五、大正八十一万六、大正八十一万七、大正八十一万八、大正八十一万九、大正八十二万、大正八十二万一、大正八十二万二、大正八十二万三、大正八十二万四、大正八十二万五、大正八十二万六、大正八十二万七、大正八十二万八、大正八十二万九、大正八十三万、大正八十三万一、大正八十三万二、大正八十三万三、大正八十三万四、大正八十三万五、大正八十三万六、大正八十三万七、大正八十三万八、大正八十三万九、大正八十四万、大正八十四万一、大正八十四万二、大正八十四万三、大正八十四万四、大正八十四万五、大正八十四万六、大正八十四万七、大正八十四万八、大正八十四万九、大正八十五万、大正八十五万一、大正八十五万二、大正八十五万三、大正八十五万四、大正八十五万五、大正八十五万六、大正八十五万七、大正八十五万八、大正八十五万九、大正八十六万、大正八十六万一、大正八十六万二、大正八十六万三、大正八十六万四、大正八十六万五、大正八十六万六、大正八十六万七、大正八十六万八、大正八十六万九、大正八十七万、大正八十七万一、大正八十七万二、大正八十七万三、大正八十七万四、大正八十七万五、大正八十七万六、大正八十七万七、大正八十七万八、大正八十七万九、大正八十八万、大正八十八万一、大正八十八万二、大正八十八万三、大正八十八万四、大正八十八万五、大正八十八万六、大正八十八万七、大正八十八万八、大正八十八万九、大正八十九万、大正八十九万一、大正八十九万二、大正八十九万三、大正八十九万四、大正八十九万五、大正八十九万六、大正八十九万七、大正八十九万八、大正八十九万九、大正九十万、大正九十万一、大正九十万二、大正九十万三、大正九十万四、大正九十万五、大正九十万六、大正九十万七、大正九十万八、大正九十万九、大正九十一万、大正九十一万一、大正九十一万二、大正九十一万三、大正九十一万四、大正九十一万五、大正九十一万六、大正九十一万七、大正九十一万八、大正九十一万九、大正九十二万、大正九十二万一、大正九十二万二、大正九十二万三、大正九十二万四、大正九十二万五、大正九十二万六、大正九十二万七、大正九十二万八、大正九十二万九、大正九十三万、大正九十三万一、大正九十三万二、大正九十三万三、大正九十三万四、大正九十三万五、大正九十三万六、大正九十三万七、大正九十三万八、大正九十三万九、大正九十四万、大正九十四万一、大正九十四万二、大正九十四万三、大正九十四万四、大正九十四万五、大正九十四万六、大正九十四万七、大正九十四万八、大正九十四万九、大正九十五万、大正九十五万一、大正九十五万二、大正九十五万三、大正九十五万四、大正九十五万五、大正九十五万六、大正九十五万七、大正九十五万八、大正九十五万九、大正九十六万、大正九十六万一、大正九十六万二、大正九十六万三、大正九十六万四、大正九十六万五、大正九十六万六、大正九十六万七、大正九十六万八、大正九十六万九、大正九十七万、大正九十七万一、大正九十七万二、大正九十七万三、大正九十七万四、大正九十七万五、大正九十七万六、大正九十七万七、大正九十七万八、大正九十七万九、大正九十八万、大正九十八万一、大正九十八万二、大正九十八万三、大正九十八万四、大正九十八万五、大正九十八万六、大正九十八万七、大正九十八万八、大正九十八万九、大正九十九万、大正九十九万一、大正九十九万二、大正九十九万三、大正九十九万四、大正九十九万五、大正九十九万六、大正九十九万七、大正九十九万八、大正九十九万九、大正一百万、大正一百万一、大正一百万二、大正一百万三、大正一百万四、大正一百万五、大正一百万六、大正一百万七、大正一百万八、大正一百万九、大正一百万一十、大正一百万一十一、大正一百万一十二、大正一百万一十三、大正一百万一十四、大正一百万一十五、大正一百万一十六、大正一百万一十七、大正一百万一十八、大正一百万一十九、大正一百万二十、大正一百万二十一、大正一百万二十二、大正一百万二十三、大正一百万二十四、大正一百万二十五、大正一百万二十六、大正一百万二十七、大正一百万二十八、大正一百万二十九、大正一百万三十、大正一百万三十一、大正一百万三十二、大正一百万三十三、大正一百万三十四、大正一百万三十五、大正一百万三十六、大正一百万三十七、大正一百万三十八、大正一百万三十九、大正一百万四十、大正一百万四十一、大正一百万四十二、大正一百万四十三、大正一百万四十四、大正一百万四十五、大正一百万四十六、大正一百万四十七、大正一百万四十八、大正一百万四十九、大正一百万五十、大正一百万五十一、大正一百万五十二、大正一百万五十三、大正一百万五十四、大正一百万五十五、大正一百万五十六、大正一百万五十七、大正一百万五十八、大正一百万五十九、大正一百万六十、大正一百万六十一、大正一百万六十二、大正一百万六十三、大正一百万六十四、大正一百万六十五、大正一百万六十六、大正一百万六十七、大正一百万六十八、大正一百万六十九、大正一百万七十、大正一百万七十一、大正一百万七十二、大正一百万七十三、大正一百万七十四、大正一百万七十五、大正一百万七十六、大正一百万七十七、大正一百万七十八、大正一百万七十九、大正一百万八十、大正一百万八十一、大正一百万八十二、大正一百万八十三、大正一百万八十四、大正一百万八十五、大正一百万八十六、大正一百万八十七、大正一百万八十八、大正一百万八十九、大正一百万九十、大正一百万九十一、大正一百万九十二、大正一百万九十三、大正一百万九十四、大正一百万九十五、大正一百万九十六、大正一百万九十七、大正一百万九十八、大正一百万九十九、大正一百万一百万

下痢! 便秘!

【適応症】
腸内異常発酵による急性・慢性カタル・下痢、
便秘、鼓腸、緑便、細菌性下痢、感受性下痢、
小児幼児の発育促進、小児ストロフルス、麻疹
疹、湿疹、栄養障害、消化不良、抗生物質療法
化学療法後の整腸

活性ビフィズス菌製剤

ラッキービー

化学療法後の整腸

日研化学株式会社

本社 東京都中央区日本橋1丁目5番地
電話 東京 (272) 8741 (代)
医薬品営業部 東京都中央区築地3-10

益々好調・トップを切って躍進!

週刊 日本医事新報

常に新らしき医学の動向を知
るために40年の経験を傾倒し
た臨床医学の結晶
圧倒的好評・充実無比

毎週土曜日発行
B5判 百数十頁
定価一部90円 下12
三カ月分1150円(下共)

東京都中央区銀座東2-111
TEL (541) 3702-3 振替東京25171 日本医事新報社

東日本医科学学生体育大会

三年連続
総合優勝

◇ ごと三連勝をなしとげた。

第7回東日本医科学生総合体育大会
冬期大会は、札幌医科大学主催のもと、三月十三日から二十六日までの十日間、旭川市で開かれた。本校からは男子部が参加した。

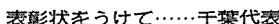
なお夏期期間における本学の入賞チームはヨット部、サッカー部などである。

大学医学部が主管校となり、七月二十二日から二十八日まで行

日北北海道ニセコスキー場で行なわれた。今回は新たに女子部門も追加され参加校は十八校の多きに達した。

冬期大会は二十三日の開会式で始まり二十四日に男子大回戦、女子大回戦、男子八キロメートル距離、二十五日に男子滑降、男子十五キロメートル距離、二十六日に男子回戦、女子回戦、男子縦走で競技を終りひきつづき閉会式が行われた。

本学スキー部は、男子、女子両部門に参加し、特に女子部員の奮闘により、夏期部門で歴応に僅差で取られていた首位を兎奪いかけた。また三連勝を成し就けることが出来た。本学は、男子部部長本間教授以下男子十五名、女子二名が



や地元の平和団体から、我々自治
会と呼びかけられています。
又千葉大学の他学部の手合会から
も大学寮・寮問題、五千円問題等
共通の利益の上に一緒になって行
動しようではないかと強い要請が
来ています。

――「さういふことは、
三つめは、千葉大学医学部学生自
治会は、我々の大学が存在するか
ぎり、存在しつづけると確信しま
す。ですから我々自治会活動は、
現時点の利益ばかりを考へるのみ

ンター」問題③学外問題になるして行く注意を許してもらいたい」と思っています。この各々の問題に對
という事です。

――「さういふことは、
三つめは、千葉大学医学部学生自
治会は、我々の大学が存在するか
ぎり、存在しつづけると確信しま
す。ですから我々自治会活動は、
現時点の利益ばかりを考へるのみ

者には千葉大学医学部の一人一人の

宮本忠昭

自治会

[illegible]

人でやっている。毎日何を目を期待しております。
 的とすることなしに、過している キヤスト
 る彼女等の所へある晩三人の盗 マチ子 山内昌子（素
 人）と、

当演劇部の活動目標は、演劇を あらすじは、さびれた別荘地の
行つことにより、精神的、肉体 ある山荘に三人の姉妹が住んで
的な向上を計ることです。脚本
を読むことにより作者の思想を

鈴木正夫先生

退官記念公演

それを表現する上に重要な意
味が有ります。さて今回の公演
は長年当演劇部の顧問教官であ
られた鈴木正夫先生（現第一生
理名譽教授）の御退官を記念し
て行なふものです。『三人の盜
は精神状態で少々脆弱であり、
末娘のレイ子は姉達の世話を二
時から、沢山の方々の御鑑賞
プロン 館野寿恵（看二）
加部恒雄（学二）
斎藤勇江（看二）
照明
大村久米子（看二）
効果
有坂真理子（医進二）
久保郁子（看二）
佐藤敦子（学三）
小道具
六時から、十九、二十日は午後
（目）の三日間、十八日は午後
月十八（金）十九（土）二十
衣裝

四大学定期戦好調

クラ
春の合宿を終え
いよいよ運動シ
ーズンに入った
が各部ともまず
まずの出足であ
る。

▼サツカー部	女子	千葉2ー1金沢
○定期戦		千葉3ー0新潟
千葉2ー1岡山		千葉3ー0信州
広島4ー2千葉		
○春季リーグ戦		
○春季リーグ戦		

▼軟庭部	男子 千葉3―2東邦 女子 千葉2―1東邦
▼硬庭部	男子 千葉9―0昭和医 女子 千葉5―0日大医
▼硬式野球部	

○春季リーグ戦
千葉6—0慈恵
千葉12—0横浜市大
駒天堂8—3千葉
千葉14—3慶応

▼準硬式野球部
○東部医科大リーグ戦
三勝一敗 (五月十六日現在)
▼剣道部
○市民大会 (五月五日)

現在部長は未定であるが、部員数は十三名、練習場は、江戸川かまたは印鰯沼疎水路を使用する予定
主将は学部三年、守屋秀繁君が決
った。艇は、ナックルフォアが一
艇だけであるが、本年度中にナック
ルフォアをもつ一艇購入する。
主将をはじめ部員一同とてもはり
きっており今後の活躍が期待され
ている。

編集部だより

部長、平賀一陽(学三)
編集長、高崎健(学三)
学四、城戸機江、里村洋一、内
村逸郎、島田純一
学三、板谷喬起
学二、今井卓夫、一瀬正治、劉
崇正、高橋達枝
学一、浅井利夫、園田俊雄、張
清美、波利輝子
医進一、柴田皓三、蟻川英幸、
医進一、柳橋雅彦、保阪善昭、

山口康一郎、松澤平、小田切文江
里川まさ子

毎年度員不足で悩まされていた編
集部は学部の新入生という枠を取
り除き医進の人々を加え、総勢二
十一名の大世帯となった。ときあ
たかもめのはな同窓会報を作り出
した黒田先輩(一内)が五月十二
日京成ホテルで結婚式を挙げた。
編集部もすっかりと根をおろし、
活動期に入ったことだ。これから
も會員諸氏の協力を願う。

各種感染症に

シオノギ研究所で創製された

持続性サルファ剤

シノミン

(スルフィソメゾール)

シオノギ製薬

(健保採用)

勲四等瑞宝章



るのはなに我半生を送りなば

核予防、に對し尽力された。これら多くの永年にわたる業績に對し叙勲されたものである。現在千葉県医師会名誉会長、井上病院長として活躍されている。

原稿募集

新入部員も10名以上加え当みのはな編集部では更に良い同窓会報を作っていくと張り切っておりますので、会員の皆様もどしどし投稿して下さいようお願いいたします。詩歌、生活記、旅行記、支部同窓会の様子、クラス会のことなどお寄せ下さい。

短歌

竹内幸明

蛇

学二 岩間 汪美

歌 短

医学部事務長補佐

竹内幸明

ゐのはなは松と桜を織なして
ながめつきせぬすみかなりけり
父も子もこのゐのはなに
學ばれて
二代のお世話叶へ願しき
命を受け車騎奔走幾星霜
微かなつゞき車賃つりのぬ
(募金)

夜もすがら心にかかぬ講堂の
大きな聲に身をやつしぬ
ゐのはなに我半生を送りなほ
心ひかかれて去りがたきかな

羽虫がブーンブーンとかたまり乍ら飛んでいた。私は湯舟の中に足をのぼして、つかっていた。温浴の湯は、滑らかに脂肪を浮べていた。この宿の女中は「お客さん。本当に温泉ですよ」といっていたが、あの温泉、独特の硫黄の臭い。小さな羽虫など殺してしまえばどうも白く濁った湯臭い。岩肌に見える露も、硬さもなかった。さういふところから二人の女がつかっていた。私の方を横目に、透すように眺めて、一方の小肥りのが何か、大人しい細い肩の女に話しかけていた。しばらくが頻りになった。白い化粧のついた顔を手拭でぬぐった。何か小肥りが姉で、細い肩の女が妹のように思えた。妹らしい方は話しかけられると、

我が世に出来ないうちのように、
我儘が出来ないというように、
ザブッと大きな音をたてて、白
い肌から真珠の水滴が落ちて、
湯をあがった。私は背をむけ
た。ぐるっと腕を湯の中で掻い
た。次にザブッと、ききほどよ
うずっと小さな音だったが、妹
らしいのがあがった。背を丸め
て、かくしを押えるようにして
身体を拭っているのを背中に感
じた。多分妹の声だろう。すき
とおるように、「お先きに」と
声かしてカラカラと下駄の音が
あとをつづいた。

二人の女は、下風呂から、一段
高い所に立っている旅館まで坂
のような道を歩いてゆくのだ。
石造りの道だ。
カラカラと下駄の音がいていて、
まっ上、風呂の中は私一人であ

技術と伝統をほこる

心電計専門メーカー

すぐれたネットワークを擁して御満足の感けるアフターサービスを実施しております。

福田エレクトロ株式会社

東京都文京区月町二の三四
電話(八二)四一四六九

本

螢光面

本年三月、本学生理學教授を退官された鈴木正夫教授が、第一歌集「螢光面」を出版した。これには昭和三十年に出版した第一歌集「葛城野」後の作品が収められており、大部分は「歌と評論」に発表されたものであり、氏の退官記念もかねて出版されたものである。

「螢光面」という題は作者が後書きで述べているように「青白く闇に光りて螢光面を並び走り去るスパイクの群」からヒントを得てつけた。同じような内容を「神経の生の閃めき」紫に照りては消ゆるプラン管のスパイク」と歌っている。これらの歌にみられるように、研究生活の合間に科学者としての真理の追求の精神を歌っているが、また一面考古學に順した操る古の精神も見逃せない。

教授の兄さんが歌を作っていたのに影響され、少しずつ作っているうちに特別な結社に入ることもし、師をもつこともなかったが、昭和

“螢光面” 鈴木正夫
(名譽教授)

“未来喪失” 富安徹太郎
(昭24卒)

夫正木 鈴木 螢光面 (名譽教授)
 富安徹太郎 未来喪失 (昭24卒)

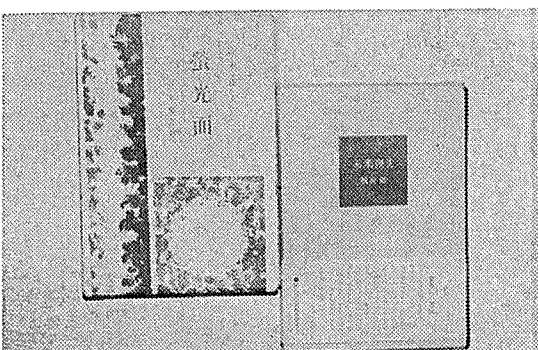
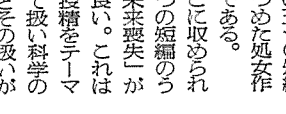
未来喪失

『未来喪失』
本孝昭和二十四年卒業の富安徹郎氏（ペンネーム、福岡 徹）が、今度短編小説集「未来喪失」を

「死」の五つの短編をあつめた処女作品である。

ここに収められた五つの短編のうち「未来喪失」が最も良い。これは人工授精をテーマとして扱い科学の発達とその扱いがひとつまちがえはいかに人格とか人間性に抵触するかを例としている。

主人公の林が人工授精の妊娠手術を受けにきた文子に、予定していたら親を知る権利を奪い、同時に学生生の精液提供者ではなく自分が子をいつくしむという人間としての精液をあなえる。文子はうまくの子関係を作るという偽善を犯すとして、夫婦間にひびが入る。林と面にも造詣をみせて追求しては、文子は精液をあなえたことが絆として、この人格であり、親を知ることによって急速に親密さを増す。これの



親から一人の子が邀万も出来たりとか、種々の幣巻を生じ、やがては人類が減んでしまつてはいないか、人々は屎水爆や細菌・化学兵器のおそろしさはよく知っている。それがあつたという間に多くの人命を奪ひ、ひとつまちがえれば人類の滅亡であるということも。

しかし、人々はまたこの「人工授精」その可能性について知らぬのではないか。というのもまたまだ犠牲者も少なく、人々の関心が他に奪われていて、人々の非難的とならぬからであらう。

「未来喪失」を読まれる方はこれらの点に留意し、作者の「人工授精」に対するヒューマニティクな憤りを吸ひとってほしいものである。

○南北社新鋭創作叢書 8
○定価三百五十円

も、麻の足拭も思えない。自分の顔に相当湯がかかって、視界を淡くしていた。少しの暇、手を顔にやり、湯を蛇のいそうな方にむかって掛けた。

蛇は仲々顔を現わさない。私の手数も減った。どこか外のほうから、あてもない方から私を眺めて、いや、ねらっているのかと思うとソツとして、あたりを小刻みに晃回した。ああ、私の肩に、一匹の蛇は私の肩の上に鎌首をもたげている。私は気が違つほどだった。あんなに一生懸命水を掛けたのに、それが無駄に了つたのだと知ると気が遠くなりそうだった。それにしても、どうして肩に來たのか。私はむこう岸に泳ぎ、風呂場の入口から逃げようと、足を動かした。蛇はゆっくりと、ゆっくりと私のあとをついて来る。私が足をすばやく動かせば動かす

んでいた。

表で、「お客さん、お風呂どうですか」と先き程の女中の声がした。私は、息をつまらせないがら、女中に助けを求めようとした。蛇の方をむいた。肩に、背に蛇はいなかった。湯舟の中に、風呂場の中にも、どこにも思えなかった。「ああ、いい湯だった」という男の声と、「そうですね。あの、私達の横に入っていた学生さん、あまり面白くないので、すっかり長湯をしてくして」という女の声が聞えて來た。この風呂から上の旅館までは一本道だ。カラカラという下駄の音もしない。まさか、蹣足で歩いているわけでもない……。女中には、「とてもいいお湯ですよ。姉さんも、一緒にどうですか」と冗談をいっておい

れなる三ツ四ツと小さな水溜りになる時、その一つ一つに電燈の光が屈折され、黄色、青色、紫色にみえた。あの蛇の顔は緑色、目は赤、ややもすると、小さな露の光は蛇の目を思わせてはっと思ふのむくともあった。私はさうしていつかちやに立ちあがり、眼を小脇にうかえて逃げようと、足を幾度となくふんばつたが、腰がたなかつた足にサラッと触れるものがありキヤツと声をあげそうになつたが、ただ息をのんだだけだった。胸が激しくふるえて、鼻血が出た。蛇の尾かと思つたが、私が先き程まで頭にのせていた

るよつについて来る。逃げられますか。逃げられますか。とつて来る。泳いで来る。あとをついて来る。逃げようと、私がこんなに氣張つて足をこかししているのに。蛇は私の背について来る。ぴたりついてくる。わけもないのに。何故だ。何故ついてくるんだ。オイ、何故だ。俺は蛇は嫌いだ。目が好かない鼻もいやだ。足のないのも、手のないのも、胴がヌルヌルするもの、舌の細く、ピロピロ出すもの。何もかも嫌だ。きらいだ。お前なんかどうしてついてくる

新 発 売 !

- 1 格調高いトリネーゼスタイル
- 2 リャーエンデンの特長を最高に生かした5人乗り乗用車
- 3 定評ある加速性能
- 4 連続高速性能はオーストラリアに於る長期テストで立証済

千葉県総代理店

千葉日野モータース株式会社

取締役社長 小 国 清 孝

千葉本店	千葉市新宿町1-335	TEL ② 9 1 9 1
市川営業所	市川市市川町4-241	TEL ② 0 6 4 4
館山連絡所	館山市北条1718	TEL 館山 5 2 4
佐原営業所	佐原市佐原口2118	TEL 佐原 28 1 0

コンテッサ1300

